

施設名称	焼津消防署東分署
------	----------

開設年	1984年	対象年度	令和04(2022)年度
代表建築年	1984年	施設番号	1101010001 中学校区 焼津中学校

施設概要	旧新屋分署(現本町2丁目)の老朽化等により、新築移転し、名称も東分署とした。
------	--

基本情報					
所在地	焼津市焼津6丁目5-18	大分類	消防施設	敷地面積(m ²)	1,783.42
所管部署	公有財産課	小分類	消防署	延床面積(m ²)	679.41
用途地域	第一種住居地域	財産種別	行政財産	施設棟数	4棟
設置根拠法令	消防組織法第10条	設置条例	志太広域事務組合志太消防本部及び消防署の設置等に関する条例	建物所有	市有
利用者	消防職員	緯度	34.864		
標高	2.3	経度	138.318		

災害発生時の位置付け						
災害対策本部	津波避難場所	避難地	避難所	福祉避難所	教護所	その他
○						

建物情報																
建物名	年		延床面積(m ²)	構造	階数	耐震状況		劣化度							総合	点数
	建築	築後				診断	補強	屋根	外部	内部	電気	空調	衛生	搬送		
焼津消防署東分署	1984	38	655.41	SRC	2	対象外	対象外	IV	II	IV	II	II	II	-	B	3.1
駐輪場	1984	38	15		1	対象外	対象外	I	I	-	-	-	-	-	A	4
ホースタワー	1984	38	5	S	1	対象外	対象外	I	I	-	-	-	-	-	A	4
電光表示板	1984	38	4		1	対象外	対象外	I	I	-	-	-	-	-	A	4

※上表には、延べ床面積の大きい順に最大8棟までを表示しています

管理運営情報

■経費情報

区分	市の収支(千円)				指定管理者の収支(千円)			
	R02年度(2020)	R03年度(2021)	R04年度(2022)	平均	R02年度(2020)	R03年度(2021)	R04年度(2022)	平均
収入								
使用料(減免後)	0	0	0	0				
指定管理料					0	0	0	0
利用料金収入					0	0	0	0
自主事業収入					0	0	0	0
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0
①合計	0	0	0	0	0	0	0	0
支出								
光熱水費	0	0	0	0	0	0	0	0
工事請負費・修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0
土地・建物等の使用料・賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0
施設・設備管理委託料	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
施設に係るコストの合計	0	0	0	0	0	0	0	0
事業委託費	0	0	0	0	0	0	0	0
事業物件費(需用費・役務費等)	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
事業運営に係るコスト(自主事業以外)の合計	0	0	0	0	0	0	0	0
事業委託費					0	0	0	0
事業物件費(需用費・役務費等)					0	0	0	0
その他					0	0	0	0
事業運営に係るコスト(自主事業分)の合計					0	0	0	0
その他	0	0	0	0				
人件費	1	1	1	1	0	0	0	0
人に係るコストの合計	1	1	1	1	0	0	0	0
②合計	1	1	1	1	0	0	0	0
純収支 ①-②	-1	-1	-1	-1	0	0	0	0

データ項目	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)
利用状況			
管理・運営情報			
運営形態	直営		
開館時間		指定期間	-
		休館日	なし

■単位あたり経費等

データ項目	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)	平均	類似平均
床面積あたり支出(円/m ²)	1.5	1.5	1.5	1.5	1.1
利用者あたり支出(円/人)	0	0	0	0	0
人口あたり支出(円/人)	0	0	0	0	0

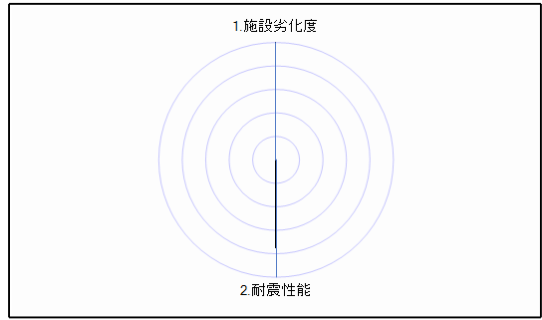
■施設外観



施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	A	
2. 耐震性能	B	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必需性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は低くなりつつある
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられている
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか（該当施設のみ記入）	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増減は見込まれない
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	広域
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在する
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	不可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	不可能
評価者	公有財産課		

■ 3次評価

建物の評価	
評価	現状維持
理由	市民の安心安全を図るための重要な施設であるが、築30年以上が経過し、施設の老朽化が著しく、今後、劣化状況に応じた適切な予防保全が望ましい。
今後の方向性	施設の老朽化が著しく大規模な修繕の必要があるため、藤枝市所管施設（南分署・北分署等）と改修レベルを合わせ大規模な修繕は適宜行っていくよう調整した。
機能の評価	
評価	現状維持
理由	志太広域事務組合（志太消防）に無償で貸与している建物であり、消防署の設置や利用形態等については、志太広域事務組合の所管となる。
今後の方向性	
評価者	公有財産課

※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない

施設名称	焼津消防署大井川分署	開設年	2005年	対象年度	令和04(2022)年度		
		代表建築年	2004年	施設番号	1101020001	中学校区	大井川中学校

施設概要	平成17年3月31日に老朽化した旧大井川分署庁舎を大井川町が建築し、平成17年4月1日より新大井川分署庁舎の供用を開始した。鉄筋コンクリート2階建塔屋付建築面積901.25㎡延べ面積1,396.89㎡
------	--

基本情報						
所在地	焼津市宗高909-1	大分類	消防施設	敷地面積(㎡)	9,286.67	
所管部署	公有財産課	小分類	消防署	延床面積(㎡)	1,530.89	
用途地域	その他	財産種別	行政財産	施設棟数	8棟	
設置根拠法令	消防組織法第10条	設置条例	志太広域事務組合志太消防本部及び消防署の設置等に関する条例	建物所有	市有	
利用者	消防関係者	緯度	34.804			
標高	8.5	経度	138.286			

災害発生時の位置付け						
災害対策本部	津波避難場所	避難地	避難所	福祉避難所	教護所	その他
○						

建物情報																
建物名	年		延床面積(㎡)	構造	階数	耐震状況		劣化度							総合	点数
	建築	築後				診断	補強	屋根	外部	内部	電気	空調	衛生	搬送		
焼津消防署大井川分署	2005	17	1,396.89	RC	3	対象外	対象外	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅳ	Ⅲ	-	A	3.6
訓練棟	2005	17	65.12	S	2	対象外	対象外	-	Ⅰ	Ⅰ	-	-	-	-	A	4
倉庫	2005	17	20	RC	1	対象外	対象外	-	Ⅰ	Ⅰ	-	-	-	-	A	4
ポンベ充填室	2005	17	14	RC	1	対象外	対象外	-	Ⅰ	Ⅰ	-	-	-	-	A	4
ホースタワー	2005	17	12.54	S	1	対象外	対象外	-	Ⅰ	Ⅰ	-	-	-	-	A	4
危険物庫	2005	17	12	RC	1	対象外	対象外	-	Ⅰ	Ⅰ	-	-	-	-	A	4
自転車置場	2005	17	9.07	S	1	対象外	対象外	Ⅰ	Ⅰ	-	-	-	-	-	A	4
電光掲示板	2005	17	1.27	S	1	対象外	対象外	-	Ⅰ	-	-	-	-	-	A	4

※上表には、延べ床面積の大きい順に最大8棟までを表示しています

管理運営情報

■経費情報

区分	市の収支(千円)				指定管理者の収支(千円)			
	R02年度(2020)	R03年度(2021)	R04年度(2022)	平均	R02年度(2020)	R03年度(2021)	R04年度(2022)	平均
収入								
使用料(減免後)	0	0	0	0				
指定管理料					0	0	0	0
利用料金収入					0	0	0	0
自主事業収入					0	0	0	0
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0
①合計	0	0	0	0	0	0	0	0
支出								
光熱水費	0	0	0	0	0	0	0	0
工事請負費・修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0
土地・建物等の使用料・賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0
施設・設備管理委託料	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
施設に係るコストの合計	0	0	0	0	0	0	0	0
事業委託費	0	0	0	0	0	0	0	0
事業物件費(需用費・役務費等)	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
事業運営に係るコスト(自主事業以外)の合計	0	0	0	0	0	0	0	0
事業委託費					0	0	0	0
事業物件費(需用費・役務費等)					0	0	0	0
その他					0	0	0	0
事業運営に係るコスト(自主事業分)の合計					0	0	0	0
その他	0	0	0	0				
人件費	1	1	1	1	0	0	0	0
人に係るコストの合計	1	1	1	1	0	0	0	0
②合計	1	1	1	1	0	0	0	0
純収支 ①-②	-1	-1	-1	-1	0	0	0	0

データ項目	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)
収入			
支出			
純収支			

■利用状況

データ項目	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)

■管理・運営情報

運営管理者			
運営形態	直営	指定期間	-
開館時間	0:00~23:59 24時間	休館日	なし

■単位あたり経費等

データ項目	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)	平均	類似平均
床面積あたり支出(円/㎡)	0.7	0.7	0.7	0.7	1.1
利用者あたり支出(円/人)	0	0	0	0	0
人口あたり支出(円/人)	0	0	0	0	0

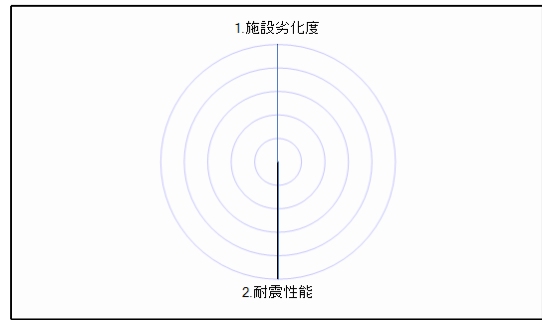
■施設外観



施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	A	
2. 耐震性能	A	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必需性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は低くなりつつある
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられている
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか（該当施設のみ記入）	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増減は見込まれない
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	広域
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在する
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	不可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	不可能
評価者	公有財産課		

■ 3次評価

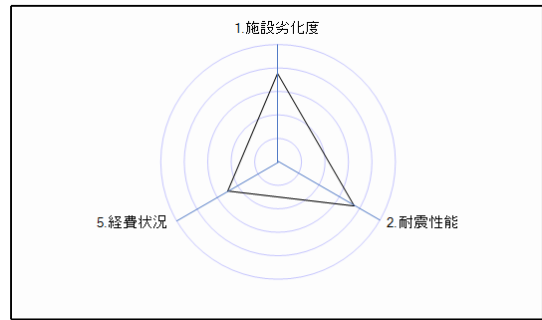
建物の評価	
評価	現状維持
理由	現状は大規模な修繕は必要ないが、市民の安心安全を図るための重要な施設であるため、施設の劣化状況等に合わせ適切な維持保全を行う必要がある。
今後の方向性	藤枝市所管施設（南分署・北分署等）と改修レベルを合わせ大規模な修繕は適宜行っていくよう調整した。
機能の評価	
評価	現状維持
理由	志太広域事務組合（志太消防）に無償で貸与している建物であり、消防署の設置や利用形態等については、志太広域事務組合の所管となる。
今後の方向性	
評価者	公有財産課

※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない

施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	B	
2. 耐震性能	B	
5. 経費状況	C	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必需性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は高い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか（該当施設のみ記入）	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増減は見込まれない
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	特定地区
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在しない
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	不可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	不可能
評価者	地域防災課		

■ 3次評価

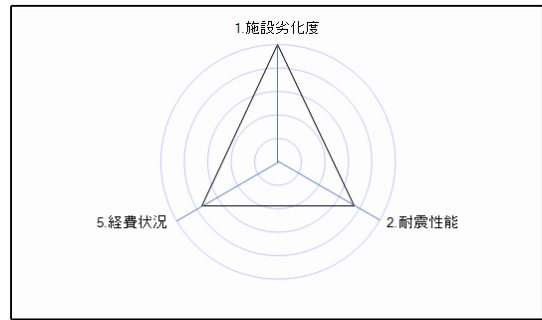
建物の評価	
評価	現状維持
理由	今後5年間に大規模改修は必要ないため現状維持とする。
今後の方向性	
機能の評価	
評価	現状維持
理由	消防団の車両・資機材が配備され、災害活動時の分団の拠点施設のため、今後5年間は現状維持とする。
今後の方向性	
評価者	地域防災課

※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない

施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	A	
2. 耐震性能	B	
5. 経費状況	B	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必需性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は高い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか（該当施設のみ記入）	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増減は見込まれない
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	特定地区
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在しない
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	不可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	不可能
評価者	地域防災課		

■ 3次評価

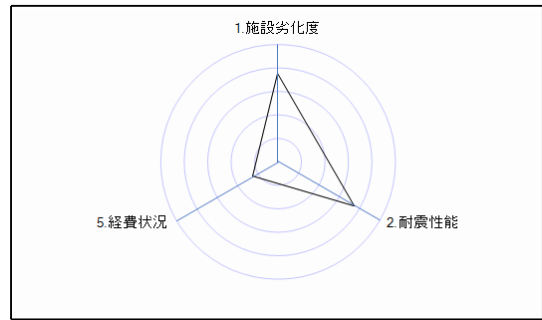
建物の評価	
評価	現状維持
理由	今後5年間に大規模改修は必要ないため現状維持とする。
今後の方向性	
機能の評価	
評価	現状維持
理由	消防団の車両・資機材が配置され、災害活動時の分団の拠点施設のため、今後5年間は現状維持とする。
今後の方向性	
評価者	地域防災課

※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない

施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	B	
2. 耐震性能	B	
5. 経費状況	D	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必需性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は高い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか（該当施設のみ記入）	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増減は見込まれない
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	特定地区
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在しない
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	不可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	不可能
評価者	地域防災課		

■ 3次評価

建物の評価	
評価	現状維持
理由	今後5年間に大規模改修は必要ないため現状維持とする。
今後の方向性	
機能の評価	
評価	現状維持
理由	消防団の車両・資機材が配置され、災害活動時の分団の拠点施設のため、今後5年間は現状維持とする。
今後の方向性	
評価者	地域防災課

※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない

施設名称	消防団第17分団車庫
------	------------

開設年	2002年	対象年度	令和04(2022)年度
代表建築年	2002年	施設番号	1102040001 中学校区 大井川中学校

施設概要	火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけ、その地域での経験を活かした消火活動・救助活動を行う消防団の活動が円滑に行われるよう、消防団の装備の充実を図っている。消防団の車両等設備及び資材を収納し、その維持管理を行う車庫が整備された。
------	---

基本情報				
所在地	焼津市相川709-2	大分類	消防施設	敷地面積 (㎡)
所管部署	地域防災課	小分類	消防団車庫・詰所	延床面積 (㎡)
用途地域	その他	財産種別	行政財産	施設棟数
設置根拠法令		設置条例		建物所有
利用者	焼津市消防団	緯度	34.807	市有
標高	15.9	経度	138.263	

災害発生時の位置付け						
災害対策本部	津波避難場所	避難地	避難所	福祉避難所	救護所	その他

建物情報																
建物名	年		延床面積 (㎡)	構造	階数	耐震状況		屋根	外部	内部	電気	劣化度			総合	点数
	建築	築後				診断	補強					衛生	搬送	その他		
消防車庫	2002	20	17.38	LS	1	対象外	対象外	II	I	II	II	-	-	-	A	4

※上表には、延べ床面積の大きい順に最大8棟までを表示しています

管理運営情報

■経費情報

区分	市の収支 (千円)				指定管理者の収支 (千円)			
	R02年度 (2020)	R03年度 (2021)	R04年度 (2022)	平均	R02年度 (2020)	R03年度 (2021)	R04年度 (2022)	平均
使用料(減免後)	0	0	0	0				
指定管理料					0	0	0	0
利用料金収入					0	0	0	0
自主事業収入					0	0	0	0
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0
①合計	0	0	0	0	0	0	0	0

支出								
光熱水費	23	16	24	21	0	0	0	0
工事請負費・修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0
土地・建物等の使用料・賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0
施設・設備管理委託料	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
施設に係るコストの合計	23	16	24	21	0	0	0	0
事業委託費	0	0	0	0	0	0	0	0
事業物件費(需用費・役務費等)	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
事業運営に係るコスト(自主事業以外)の合計	0	0	0	0	0	0	0	0
事業委託費					0	0	0	0
事業物件費(需用費・役務費等)					0	0	0	0
その他					0	0	0	0
事業運営に係るコスト(自主事業分)の合計					0	0	0	0
その他	0	0	0	0				
人件費	75	77	75	76	0	0	0	0
人に係るコストの合計	75	77	75	76	0	0	0	0
②合計	98	93	99	97	0	0	0	0

純収支 ①-②	-98	-93	-99	-97	0	0	0	0
---------	-----	-----	-----	-----	---	---	---	---

■利用状況

データ項目	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)

■管理・運営情報

運営管理者	
運営形態	直営
開館時間	指定期間 ー 休館日 ー

■単位あたり経費等

データ項目	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)	平均	類似平均
床面積あたり支出 (円/㎡)	5,638.7	5,351.0	5,696.2	5,562.0	5,190.7
利用者あたり支出 (円/人)	0	0	0	0	0
人口あたり支出 (円/人)	0.7	0.7	0.7	0.7	3.0

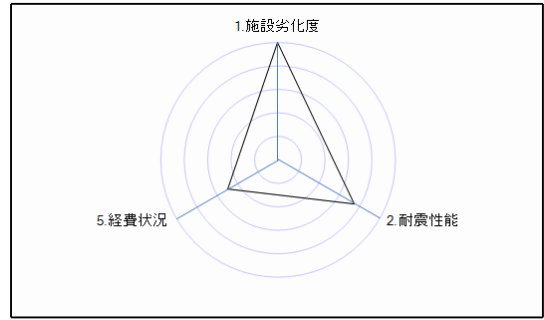
■施設外観



施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	A	
2. 耐震性能	B	
5. 経費状況	C	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必需性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は高い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか（該当施設のみ記入）	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増減は見込まれない
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	特定地区
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在しない
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	不可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	不可能
評価者	地域防災課		

■ 3次評価

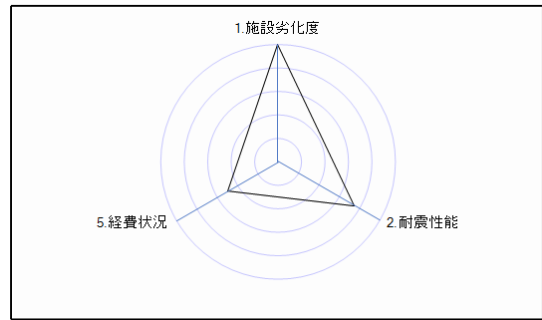
建物の評価	
評価	現状維持
理由	今後5年間に大規模改修は必要ないため現状維持とする。
今後の方向性	
機能の評価	
評価	現状維持
理由	消防団の車両・資機材が配置され、災害活動時の分団の拠点施設のため、今後5年間は現状維持とする。
今後の方向性	
評価者	地域防災課

※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない

施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	A	
2. 耐震性能	B	
5. 経費状況	C	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必需性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は高い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか（該当施設のみ記入）	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増減は見込まれない
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	特定地区
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在しない
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	不可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	不可能
評価者	地域防災課		

■ 3次評価

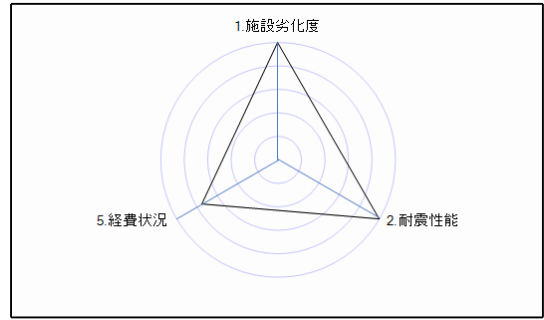
建物の評価	
評価	現状維持
理由	今後5年間に大規模改修は必要ないため現状維持とする。
今後の方向性	
機能の評価	
評価	現状維持
理由	消防団の車両・資機材が配置され、災害活動時の分団の拠点施設のため、今後5年間は現状維持とする。
今後の方向性	
評価者	地域防災課

※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない

施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	A	
2. 耐震性能	A	
5. 経費状況	B	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必需性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は高い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか（該当施設のみ記入）	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増減は見込まれない
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	特定地区
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在しない
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	不可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	不可能
評価者	地域防災課		

■ 3次評価

建物の評価	
評価	現状維持
理由	今後5年間に大規模改修は必要ないため現状維持とする。
今後の方向性	
機能の評価	
評価	現状維持
理由	消防団の車両・資機材が配置され、災害活動時の分団の拠点施設のため、今後5年間は現状維持とする。
今後の方向性	
評価者	地域防災課

※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない

施設名称	消防団第8分団車庫・詰所
------	--------------

開設年	2005年	対象年度	令和04(2022)年度
代表建築年	2004年	施設番号	1102070001 中学校区 豊田中学校

施設概要	火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけ、その地域での経験を活かした消火活動・救助活動を行う消防団の活動が円滑に行われるよう、消防団の装備の実を固めている。消防団の車両等設備及び資材を収納し、その維持管理を行う車庫及び消防団員の待機場所として詰所が整備された。
------	--

基本情報					
所在地	焼津市小土1154-1	大分類	消防施設	敷地面積 (㎡)	253.66
所管部署	地域防災課	小分類	消防団車庫・詰所	延床面積 (㎡)	74.52
用途地域	第二種住居地域	財産種別	行政財産	施設棟数	1棟
設置根拠法令		設置条例		建物所有	市有
利用者	焼津市消防団	緯度	34.862		
標高	10.3	経度	138.287		

災害発生時の位置付け						
災害対策本部	津波避難場所	避難地	避難所	福祉避難所	教護所	その他

建物情報																
建物名	年		延床面積 (㎡)	構造	階数	耐震状況		劣化度							総合	点数
	建築	築後				診断	補強	屋根	外部	内部	電気	空調	衛生	搬送		
消防団員用車庫・詰所	2005	17	74.52	S	2	対象外	対象外	II	I	II	II	II	II	-	A	4

※上表には、延べ床面積の大きい順に最大8棟までを表示しています

管理運営情報

■経費情報

区分	市の収支 (千円)				指定管理者の収支 (千円)			
	R02年度 (2020)	R03年度 (2021)	R04年度 (2022)	平均	R02年度 (2020)	R03年度 (2021)	R04年度 (2022)	平均
使用料(減免後)	0	0	0	0				
指定管理料					0	0	0	0
利用料金収入					0	0	0	0
自主事業収入					0	0	0	0
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0
①合計	0	0	0	0	0	0	0	0

支出								
光熱水費	53	52	65	57	0	0	0	0
工事請負費・修繕費	0	10	150	53	0	0	0	0
土地・建物等の使用料・賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0
施設・設備管理委託料	10	10	10	10	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
施設に係るコストの合計	63	72	225	120	0	0	0	0
事業委託費	0	0	0	0	0	0	0	0
事業物件費(需用費・役務費等)	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
事業運営に係るコスト(自主事業以外)の合計	0	0	0	0	0	0	0	0
事業委託費					0	0	0	0
事業物件費(需用費・役務費等)					0	0	0	0
その他					0	0	0	0
事業運営に係るコスト(自主事業分)の合計					0	0	0	0
その他	0	0	0	0				
人件費	325	329	323	326	0	0	0	0
人に係るコストの合計	325	329	323	326	0	0	0	0
②合計	388	401	548	446	0	0	0	0

純収支 ①-②	-388	-401	-548	-446	0	0	0	0
---------	------	------	------	------	---	---	---	---

■利用状況

データ項目	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)

■管理・運営情報

運営管理者	
運営形態	直営
開館時間	指定期間 ー 休館日 ー

■単位あたり経費等

データ項目	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)	平均	類似平均
床面積あたり支出 (円/㎡)	5,206.7	5,381.1	7,353.7	5,980.5	5,190.7
利用者あたり支出 (円/人)	0	0	0	0	0
人口あたり支出 (円/人)	2.8	2.9	4.0	3.2	3.0

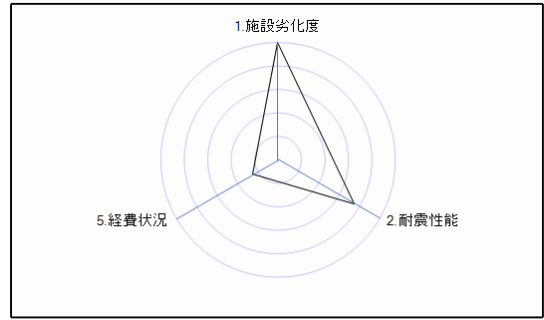
■施設外観



施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	A	
2. 耐震性能	B	
5. 経費状況	D	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必需性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は高い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか（該当施設のみ記入）	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増減は見込まれない
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	特定地区
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在しない
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	不可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	不可能
評価者	地域防災課		

■ 3次評価

建物の評価	
評価	現状維持
理由	今後5年間に大規模改修は必要ないため現状維持とする。
今後の方向性	
機能の評価	
評価	現状維持
理由	消防団の車両・資機材が配置され、災害活動時の分団の拠点施設のため、今後5年間は現状維持とする。
今後の方向性	
評価者	地域防災課

※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない

施設名称	消防団第9分団車庫・詰所
------	--------------

開設年	1988年	対象年度	令和04(2022)年度
代表建築年	1987年	施設番号	1102080001 中学校区 小川中学校

施設概要	火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけ、その地域での経験を活かした消火活動・救助活動を行う消防団の活動が円滑に行われるよう、消防団の装備の充実を図っている。消防団の車両等設備及び資材を収納し、その維持管理を行う車庫及び消防団員の待機場所として詰所が整備された。
------	---

基本情報					
所在地	焼津市東小川7丁目12-13	大分類	消防施設	敷地面積 (㎡)	181.66
所管部署	地域防災課	小分類	消防団車庫・詰所	延床面積 (㎡)	74.52
用途地域	第二種中高層住居専用地域	財産種別	行政財産	施設棟数	1棟
設置根拠法令		設置条例		建物所有	市有
利用者	焼津市消防団	緯度	34.852		
標高	4.4	経度	138.311		

災害発生時の位置付け						
災害対策本部	津波避難場所	避難地	避難所	福祉避難所	教護所	その他

建物情報																	
建物名	年		延床面積 (㎡)	構造	階数	耐震状況		屋根	外部	内部	劣化度					総合	点数
	建築	築後				診断	補強				電気	空調	衛生	搬送			
消防団員用車庫・詰所	1988	34	74.52	S	2	対象外	対象外	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	-	B	3.4	

※上表には、延べ床面積の大きい順に最大8棟までを表示しています

管理運営情報

■経費情報

区分	市の収支 (千円)				指定管理者の収支 (千円)			
	R02年度 (2020)	R03年度 (2021)	R04年度 (2022)	平均	R02年度 (2020)	R03年度 (2021)	R04年度 (2022)	平均
使用料(減免後)	0	0	0	0				
指定管理料					0	0	0	0
利用料金収入					0	0	0	0
自主事業収入					0	0	0	0
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0
①合計	0	0	0	0	0	0	0	0

支出								
光熱水費	46	42	62	50	0	0	0	0
工事請負費・修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0
土地・建物等の使用料・賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0
施設・設備管理委託料	10	10	10	10	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
施設に係るコストの合計	56	52	72	60	0	0	0	0
事業委託費	0	0	0	0	0	0	0	0
事業物件費(需用費・役務費等)	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
事業運営に係るコスト(自主事業以外)の合計	0	0	0	0	0	0	0	0
事業委託費					0	0	0	0
事業物件費(需用費・役務費等)					0	0	0	0
その他					0	0	0	0
事業運営に係るコスト(自主事業分)の合計					0	0	0	0
その他	0	0	0	0				
人件費	325	329	323	326	0	0	0	0
人に係るコストの合計	325	329	323	326	0	0	0	0
②合計	381	381	395	386	0	0	0	0

純収支 ①-②	-381	-381	-395	-386	0	0	0	0
---------	------	------	------	------	---	---	---	---

■利用状況

データ項目	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)

■管理・運営情報

運営管理者			
運営形態	直営	指定期間	-
開館時間		休館日	なし

■単位あたり経費等

データ項目	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)	平均	類似平均
床面積あたり支出 (円/㎡)	5,112.7	5,112.7	5,300.6	5,175.3	5,190.7
利用者あたり支出 (円/人)	0	0	0	0	0
人口あたり支出 (円/人)	2.8	2.8	2.9	2.8	3.0

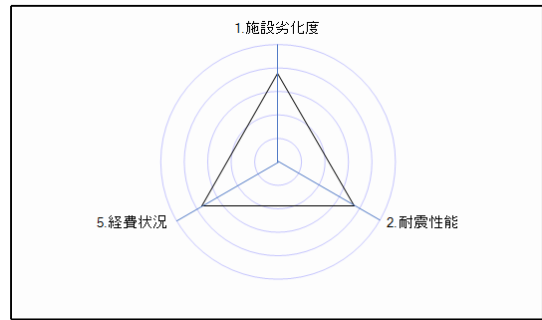
■施設外観



施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	B	
2. 耐震性能	B	
5. 経費状況	B	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必需性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は高い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか（該当施設のみ記入）	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増減は見込まれない
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	特定地区
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在しない
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	不可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	不可能
評価者	地域防災課		

■ 3次評価

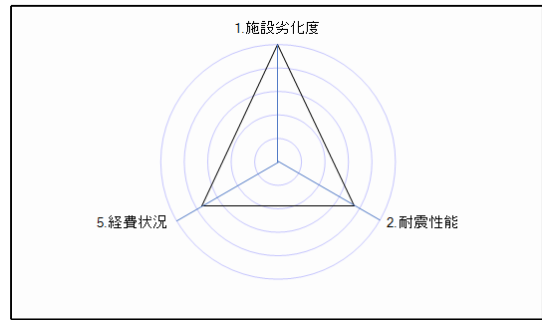
建物の評価	
評価	現状維持
理由	今後5年間に大規模改修は必要ないため現状維持とする。
今後の方向性	
機能の評価	
評価	現状維持
理由	消防団の車両・資機材が配置され、災害活動時の分団の拠点施設のため、今後5年間は現状維持とする。
今後の方向性	
評価者	地域防災課

※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない

施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	A	
2. 耐震性能	B	
5. 経費状況	B	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必需性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は高い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか（該当施設のみ記入）	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増減は見込まれない
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	特定地区
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在しない
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	不可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	不可能
評価者	地域防災課		

■ 3次評価

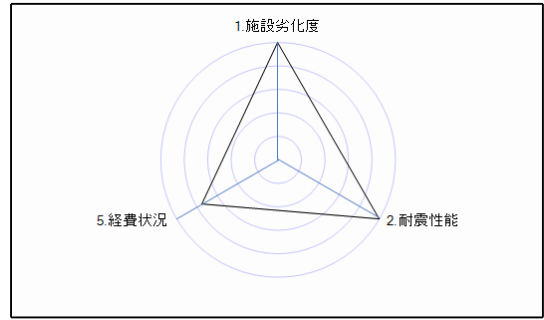
建物の評価	
評価	現状維持
理由	今後5年間に大規模改修は必要ないため現状維持とする。
今後の方向性	
機能の評価	
評価	現状維持
理由	消防団の車両・資機材が配置され、災害活動時の分団の拠点施設のため、今後5年間は現状維持とする。
今後の方向性	
評価者	地域防災課

※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない

施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	A	
2. 耐震性能	A	
5. 経費状況	B	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必要性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は高い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか（該当施設のみ記入）	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増減は見込まれない
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	特定地区
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在しない
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	不可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	不可能
評価者	地域防災課		

■ 3次評価

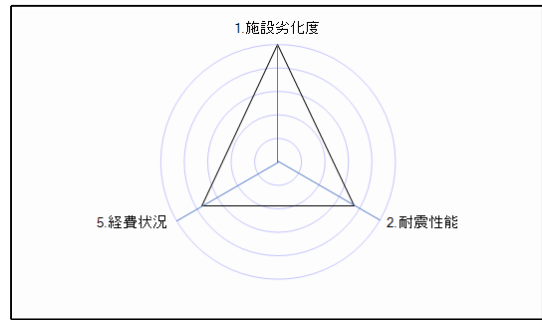
建物の評価	
評価	現状維持
理由	令和2年度に雨漏りによる屋根改修工事を実施し、今後5年間は大規模改修は必要ないため現状維持とする。
今後の方向性	
機能の評価	
評価	現状維持
理由	消防団の車両・資機材が配置され、災害活動時の分団の拠点施設のため、今後5年間は現状維持とする。
今後の方向性	
評価者	地域防災課

※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない

施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	A	
2. 耐震性能	B	
5. 経費状況	B	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必需性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は高い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか（該当施設のみ記入）	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増減は見込まれない
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	特定地区
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在しない
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	不可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	不可能
評価者	地域防災課		

■ 3次評価

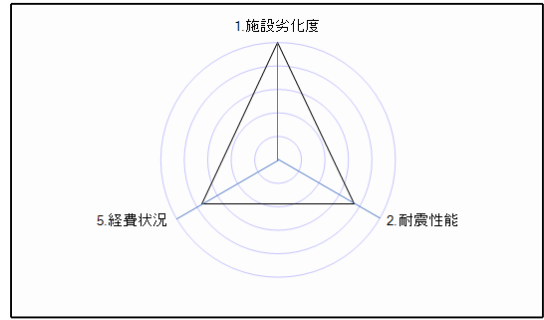
建物の評価	
評価	現状維持
理由	今後5年間に大規模改修は必要ないため現状維持とする。
今後の方向性	
機能の評価	
評価	現状維持
理由	消防団の車両・資機材が配置され、災害活動時の分団の拠点施設のため、今後5年間は現状維持とする。
今後の方向性	
評価者	地域防災課

※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない

施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	A	
2. 耐震性能	B	
5. 経費状況	B	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必需性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は高い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか（該当施設のみ記入）	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増減は見込まれない
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	特定地区
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在しない
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	不可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	不可能
評価者	地域防災課		

■ 3次評価

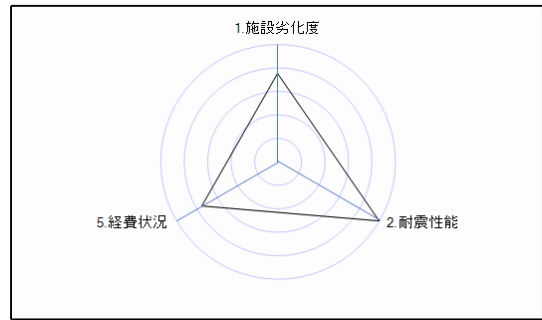
建物の評価	
評価	現状維持
理由	令和5年7月から新築している詰所に移転します。
今後の方向性	
機能の評価	
評価	現状維持
理由	令和5年7月から新築している詰所に移転します。
今後の方向性	
評価者	地域防災課

※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない

施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	B	
2. 耐震性能	A	
5. 経費状況	B	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必需性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は高い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか（該当施設のみ記入）	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増減は見込まれない
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	特定地区
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在しない
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	不可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	不可能
評価者	地域防災課		

■ 3次評価

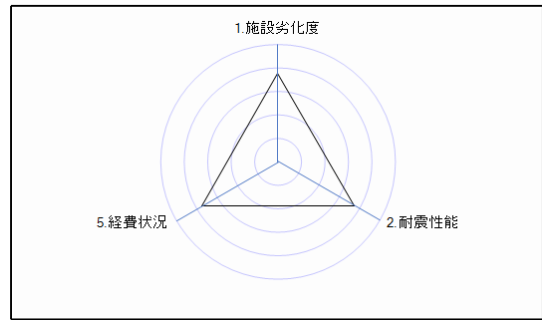
建物の評価	
評価	現状維持
理由	今後5年間に大規模改修は必要ないため現状維持とする。
今後の方向性	
機能の評価	
評価	現状維持
理由	消防団の車両・資機材が配置され、災害活動時の分団の拠点施設のため、今後5年間は現状維持とする。
今後の方向性	
評価者	地域防災課

※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない

施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	B	
2. 耐震性能	B	
5. 経費状況	B	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必需性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は高い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか（該当施設のみ記入）	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増減は見込まれない
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	特定地区
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在しない
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	不可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	不可能
評価者	地域防災課		

■ 3次評価

建物の評価	
評価	現状維持
理由	今後5年間に大規模改修は必要ないため現状維持とする。
今後の方向性	
機能の評価	
評価	現状維持
理由	消防団の車両・資機材が配置され、災害活動時の分団の拠点施設のため、今後5年間は現状維持とする。
今後の方向性	
評価者	地域防災課

※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない

施設名称	消防団第17分団車庫・詰所
------	---------------

開設年	1986年	対象年度	令和04(2022)年度
代表建築年	1986年	施設番号	1102160001 中学校区 大井川中学校

施設概要	火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけ、その地域での経験を活かした消火活動・救助活動を行う消防団の活動が円滑に行われるよう、消防団の装備の充実を図っている。消防団の車両等設備及び資材を収納し、その維持管理を行う車庫及び消防団員の待機場所として詰所が整備された。
------	---

基本情報					
所在地	焼津市下江留1754-3	大分類	消防施設	敷地面積 (㎡)	255.83
所管部署	地域防災課	小分類	消防団車庫・詰所	延床面積 (㎡)	125.74
用途地域	その他	財産種別	行政財産	施設棟数	1棟
設置根拠法令		設置条例		建物所有	市有
利用者	焼津市消防団	緯度	34.811		
標高	13.6	経度	138.273		

災害発生時の位置付け						
災害対策本部	津波避難場所	避難地	避難所	福祉避難所	教護所	その他

建物情報																
建物名	年		延床面積 (㎡)	構造	階数	耐震状況		屋根	外部	内部	電気	劣化度				点数
	建築	築後				診断	補強					衛生	搬送	総合		
消防団第三分団詰所	1986	36	125.74	OTH	2	対象外	対象外	II	II	III	II	-	II	-	B	3.4

※上表には、延べ床面積の大きい順に最大8棟までを表示しています

管理運営情報

■経費情報

区分	市の収支 (千円)				指定管理者の収支 (千円)			
	R02年度 (2020)	R03年度 (2021)	R04年度 (2022)	平均	R02年度 (2020)	R03年度 (2021)	R04年度 (2022)	平均
使用料(減免後)	0	0	0	0				
指定管理料					0	0	0	0
利用料金収入					0	0	0	0
自主事業収入					0	0	0	0
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0
①合計	0	0	0	0	0	0	0	0

支出								
光熱水費	42	46	51	46	0	0	0	0
工事請負費・修繕費	0	0	253	84	0	0	0	0
土地・建物等の使用料・賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0
施設・設備管理委託料	10	10	10	10	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
施設に係るコストの合計	52	56	314	141	0	0	0	0
事業委託費	0	0	0	0	0	0	0	0
事業物件費(需用費・役務費等)	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
事業運営に係るコスト(自主事業以外)の合計	0	0	0	0	0	0	0	0
事業委託費					0	0	0	0
事業物件費(需用費・役務費等)					0	0	0	0
その他					0	0	0	0
事業運営に係るコスト(自主事業分)の合計					0	0	0	0
その他	0	0	0	0				
人件費	548	556	0	368	0	0	0	0
人に係るコストの合計	548	556	0	368	0	0	0	0
②合計	600	612	314	509	0	0	0	0

純収支 ①-②	-600	-612	-314	-509	0	0	0	0
---------	------	------	------	------	---	---	---	---

■利用状況

データ項目	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)

■管理・運営情報

運営管理者			
運営形態	直営	指定期間	-
開館時間		休館日	なし

■単位あたり経費等

データ項目	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)	平均	類似平均
床面積あたり支出 (円/㎡)	4,771.8	4,867.2	2,497.2	4,045.4	5,190.7
利用者あたり支出 (円/人)	0	0	0	0	0
人口あたり支出 (円/人)	4.3	4.5	2.3	3.7	3.0

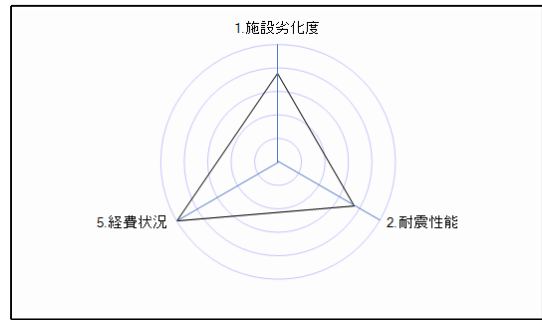
■施設外観



施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	B	
2. 耐震性能	B	
5. 経費状況	A	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必需性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は高い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか（該当施設のみ記入）	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増減は見込まれない
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	特定地区
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在しない
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	不可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	不可能
評価者	地域防災課		

■ 3次評価

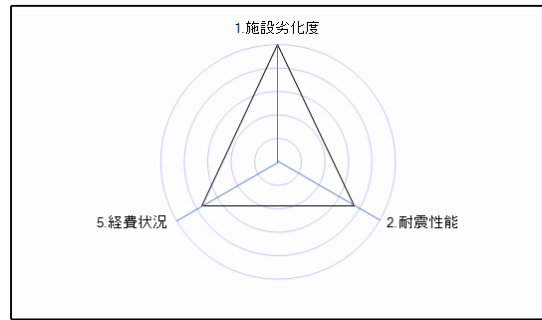
建物の評価	
評価	現状維持
理由	今後5年間に大規模改修は必要ないため現状維持とする。
今後の方向性	
機能の評価	
評価	現状維持
理由	消防団の車両・資機材が配置され、災害活動時の分団の拠点施設のため、今後5年間は現状維持とする。
今後の方向性	
評価者	地域防災課

※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない

施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	A	
2. 耐震性能	B	
5. 経費状況	B	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必需性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は高い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか（該当施設のみ記入）	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増減は見込まれない
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	特定地区
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在しない
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	不可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	不可能
評価者	地域防災課		

■ 3次評価

建物の評価	
評価	現状維持
理由	今後5年間に大規模改修は必要ないため現状維持とする。
今後の方向性	
機能の評価	
評価	現状維持
理由	消防団の車両・資機材が配置され、災害活動時の分団の拠点施設のため、今後5年間は現状維持とする。
今後の方向性	
評価者	地域防災課

※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない

施設名称	消防団第12分団車庫・詰所
------	---------------

開設年	1989年	対象年度	令和04(2022)年度
代表建築年	1988年	施設番号	1102180001 中学校区 大富中学校

施設概要	火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけ、その地域での経験を活かした消火活動・救助活動を行う消防団の活動が円滑に行われるよう、消防団の装備の充実を図っている。消防団の車両等設備及び資材を収納し、その維持管理を行う車庫及び消防団員の待機場所として詰所が整備された。
------	---

基本情報					
所在地	焼津市中新田518-1	大分類	消防施設	敷地面積 (㎡)	168.39
所管部署	地域防災課	小分類	消防団車庫・詰所	延床面積 (㎡)	74.52
用途地域	その他	財産種別	行政財産	施設棟数	1棟
設置根拠法令		設置条例		建物所有	市有
利用者	焼津市消防団	緯度	34.839		
標高	9	経度	138.295		

災害発生時の位置付け						
災害対策本部	津波避難場所	避難地	避難所	福祉避難所	教護所	その他

建物情報																	
建物名	年		延床面積 (㎡)	構造	階数	耐震状況		劣化度							総合	点数	
	建築	築後				診断	補強	屋根	外部	内部	電気	空調	衛生	搬送			
消防団員用車庫・詰所	1989	33	74.52	S	2	対象外	対象外	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	-	A	3.6

※上表には、延べ床面積の大きい順に最大8棟までを表示しています

管理運営情報

■経費情報

区分	市の収支 (千円)				指定管理者の収支 (千円)			
	R02年度 (2020)	R03年度 (2021)	R04年度 (2022)	平均	R02年度 (2020)	R03年度 (2021)	R04年度 (2022)	平均
使用料(減免後)	0	0	0	0				
指定管理料					0	0	0	0
利用料金収入					0	0	0	0
自主事業収入					0	0	0	0
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0
①合計	0	0	0	0	0	0	0	0

支出								
光熱水費	44	46	60	50	0	0	0	0
工事請負費・修繕費	0	750	0	250	0	0	0	0
土地・建物等の使用料・賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0
施設・設備管理委託料	10	10	10	10	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
施設に係るコストの合計	54	806	70	310	0	0	0	0
事業委託費	0	0	0	0	0	0	0	0
事業物件費(需用費・役務費等)	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
事業運営に係るコスト(自主事業以外)の合計	0	0	0	0	0	0	0	0
事業委託費					0	0	0	0
事業物件費(需用費・役務費等)					0	0	0	0
その他					0	0	0	0
事業運営に係るコスト(自主事業分)の合計					0	0	0	0
その他	0	0	0	0				
人件費	325	329	323	326	0	0	0	0
人に係るコストの合計	325	329	323	326	0	0	0	0
②合計	379	1,135	393	636	0	0	0	0

純収支 ①-②	-379	-1,135	-393	-636	0	0	0	0
---------	------	--------	------	------	---	---	---	---

■利用状況

データ項目	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)

■管理・運営情報

運営管理者			
運営形態	直営	指定期間	-
開館時間		休館日	なし

■単位あたり経費等

データ項目	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)	平均	類似平均
床面積あたり支出 (円/㎡)	5,085.9	15,230.8	5,273.8	8,530.2	5,190.7
利用者あたり支出 (円/人)	0	0	0	0	0
人口あたり支出 (円/人)	2.7	8.3	2.9	4.6	3.0

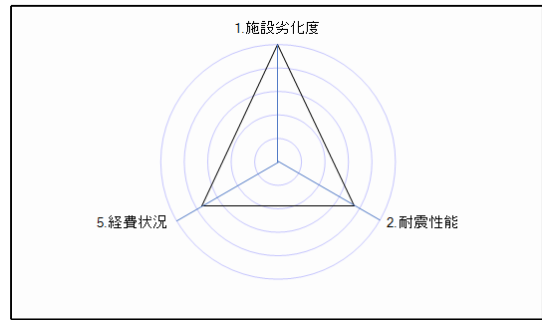
■施設外観



施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	A	
2. 耐震性能	B	
5. 経費状況	B	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必需性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は高い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか（該当施設のみ記入）	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増減は見込まれない
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	特定地区
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在しない
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	不可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	不可能
評価者	地域防災課		

■ 3次評価

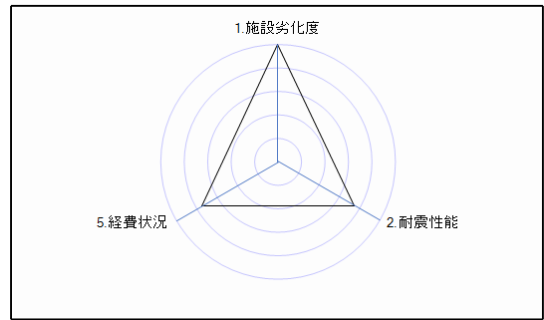
建物の評価	
評価	現状維持
理由	今後5年間に大規模改修は必要ないため現状維持とする。
今後の方向性	
機能の評価	
評価	現状維持
理由	消防団の車両・資機材が配置され、災害活動時の分団の拠点施設のため、今後5年間は現状維持とする。
今後の方向性	
評価者	地域防災課

※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない

施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	A	
2. 耐震性能	B	
5. 経費状況	B	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必需性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は高い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか（該当施設のみ記入）	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増減は見込まれない
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	特定地区
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在しない
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	不可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	不可能
評価者	地域防災課		

■ 3次評価

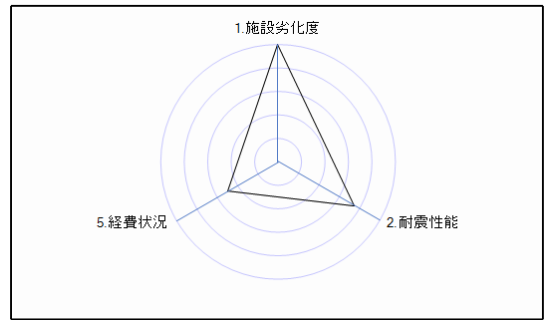
建物の評価	
評価	現状維持
理由	今後5年間に大規模改修は必要ないため現状維持とする。
今後の方向性	
機能の評価	
評価	現状維持
理由	消防団の車両・資機材が配置され、災害活動時の分団の拠点施設のため、今後5年間は現状維持とする。
今後の方向性	
評価者	地域防災課

※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない

施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	A	
2. 耐震性能	B	
5. 経費状況	C	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必需性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は高い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか（該当施設のみ記入）	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増減は見込まれない
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	特定地区
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在しない
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	不可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	不可能
評価者	地域防災課		

■ 3次評価

建物の評価	
評価	現状維持
理由	今後5年間に大規模改修は必要ないため現状維持とする。
今後の方向性	
機能の評価	
評価	現状維持
理由	消防団の車両・資機材が配置され、災害活動時の分団の拠点施設のため、今後5年間は現状維持とする。
今後の方向性	
評価者	地域防災課

※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない

施設名称	消防団第2分団車庫・詰所
------	--------------

開設年	1982年	対象年度	令和04(2022)年度
代表建築年	1982年	施設番号	1102230001 中学校区 焼津中学校

施設概要	火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけ、その地域での経験を活かした消火活動・救助活動を行う消防団の活動が円滑に行われるよう、消防団の装備の充実を図っている。消防団の車両等設備及び資材を収納し、その維持管理を行う車庫及び消防団員の待機場所として詰所が整備された。
------	---

基本情報					
所在地	焼津市焼津2丁目7-1	大分類	消防施設	敷地面積 (㎡)	2,535
所管部署	地域防災課	小分類	消防団車庫・詰所	延床面積 (㎡)	65.61
用途地域	第一種住居地域	財産種別	行政財産	施設棟数	2棟
設置根拠法令		設置条例		建物所有	市有
利用者	焼津市消防団	緯度	34.865		
標高	2.9	経度	138.314		

災害発生時の位置付け						
災害対策本部	津波避難場所	避難地	避難所	福祉避難所	教護所	その他

建物情報																
建物名	年		延床面積 (㎡)	構造	階数	耐震状況		劣化度							総合	点数
	建築	築後				診断	補強	屋根	外部	内部	電気	空調	衛生	搬送		
消防団員用車庫・詰所	1982	40	48.57	S	2	対象外	対象外	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	—	Ⅱ	—	B	3.4
消防団員用車庫・詰所(増築部分)	1990	32	17.04	S	2	対象外	対象外	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	—	Ⅱ	—	B	3.4

※上表には、延べ床面積の大きい順に最大8棟までを表示しています

管理運営情報

■経費情報

区分	市の収支(千円)				指定管理者の収支(千円)			
	R02年度(2020)	R03年度(2021)	R04年度(2022)	平均	R02年度(2020)	R03年度(2021)	R04年度(2022)	平均
使用料(減免後)	0	0	0	0				
指定管理料					0	0	0	0
利用料金収入					0	0	0	0
自主事業収入					0	0	0	0
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0
①合計	0	0	0	0	0	0	0	0

支出								
光熱水費	47	48	54	50	0	0	0	0
工事請負費・修繕費	602	12	0	205	0	0	0	0
土地・建物等の使用料・賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0
施設・設備管理委託料	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
施設に係るコストの合計	649	60	54	254	0	0	0	0
事業委託費	0	0	0	0	0	0	0	0
事業物件費(需用費・役務費等)	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
事業運営に係るコスト(自主事業以外)の合計	0	0	0	0	0	0	0	0
事業委託費					0	0	0	0
事業物件費(需用費・役務費等)					0	0	0	0
その他					0	0	0	0
事業運営に係るコスト(自主事業分)の合計					0	0	0	0
その他	0	0	0	0				
人件費	286	290	284	287	0	0	0	0
人に係るコストの合計	286	290	284	287	0	0	0	0
②合計	935	350	338	541	0	0	0	0
純収支 ①-②	-935	-350	-338	-541	0	0	0	0

■利用状況

データ項目	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)

■施設外観



■管理・運営情報

運営管理者		指定期間	-
運営形態	直営	休館日	なし
開館時間			

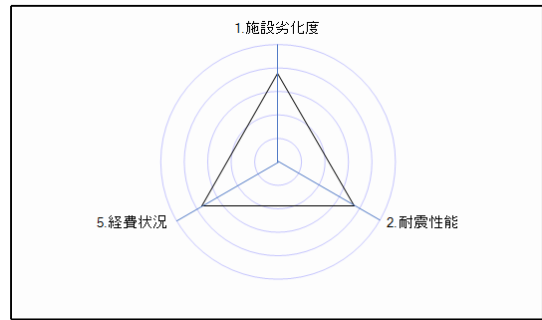
■単位あたり経費等

データ項目	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)	平均	類似平均
床面積あたり支出(円/㎡)	14,250.9	5,334.6	5,151.7	8,245.7	5,190.7
利用者あたり支出(円/人)	0	0	0	0	0
人口あたり支出(円/人)	6.8	2.5	2.5	3.9	3.0

施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	B	
2. 耐震性能	B	
5. 経費状況	B	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必需性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は高い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか（該当施設のみ記入）	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増減は見込まれない
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	特定地区
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在しない
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	不可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	不可能
評価者	地域防災課		

■ 3次評価

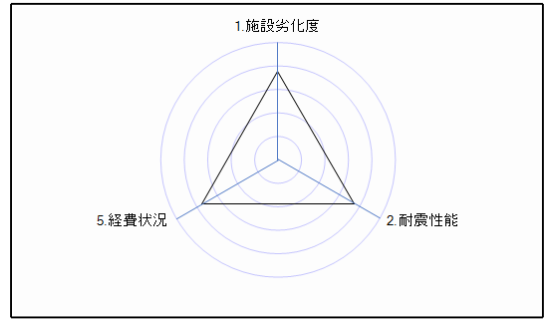
建物の評価	
評価	現状維持
理由	今後5年間に大規模改修は必要ないため現状維持とする。
今後の方向性	
機能の評価	
評価	現状維持
理由	消防団の車両・資機材が配置され、災害活動時の分団の拠点施設のため、今後5年間は現状維持とする。
今後の方向性	
評価者	地域防災課

※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない

施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	B	
2. 耐震性能	B	
5. 経費状況	B	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必需性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は高い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか（該当施設のみ記入）	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増減は見込まれない
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	特定地区
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在しない
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	不可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	不可能
評価者	地域防災課		

■ 3次評価

建物の評価	
評価	現状維持
理由	今後5年間に大規模改修は必要ないため現状維持とする。
今後の方向性	
機能の評価	
評価	現状維持
理由	消防団の車両・資機材が配置され、災害活動時の分団の拠点施設のため、今後5年間は現状維持とする。
今後の方向性	
評価者	地域防災課

※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない